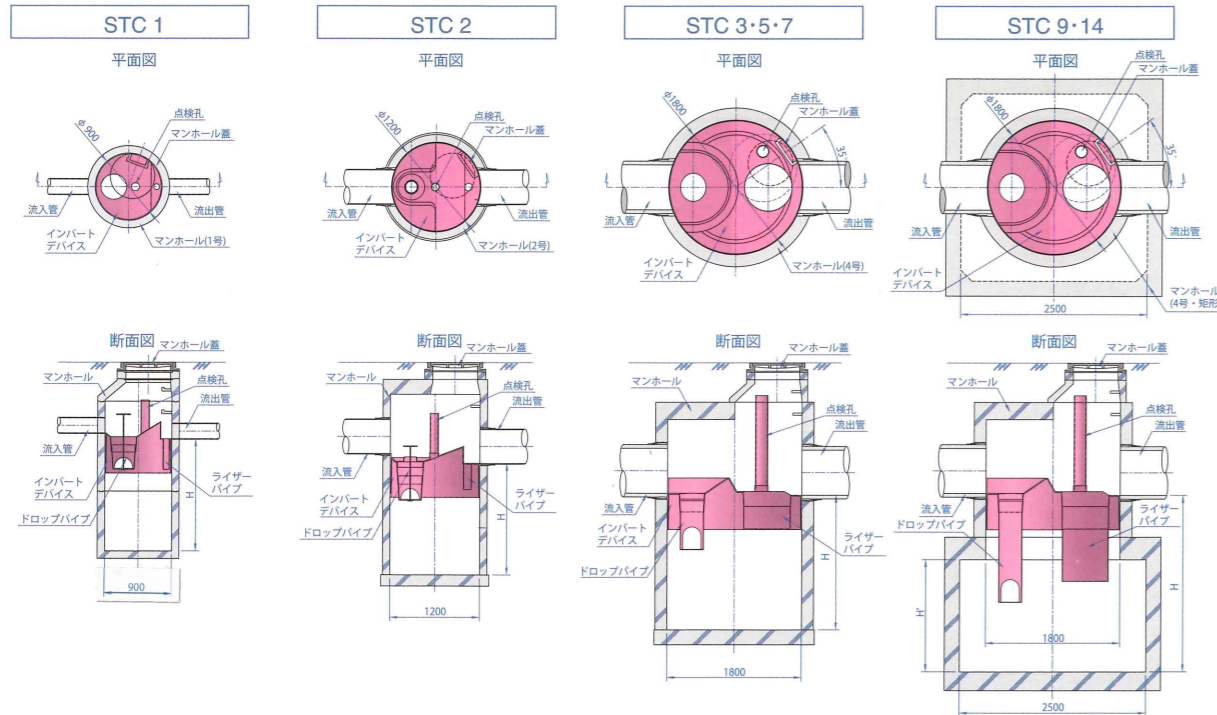


製品スペック (組立標準図・主要機種と処理能力)



○主要機種の処理能力

型式	貯留量 寸法	貯留槽 ^{*1}		
		貯油量	堆積物量	総容量
STC 1	内径φ900mm× H1,500mm	0.250m ³ (250ℓ)	0.140m ³ (140ℓ)	0.950m ³ (950ℓ)
STC 2	内径φ1,200mm× H1,550mm	0.330m ³ (330ℓ)	0.240m ³ (240ℓ)	1.600m ³ (1,600ℓ)
STC 3	内径φ1,800mm× H1,400mm	0.920m ³ (920ℓ)	0.500m ³ (500ℓ)	3.180m ³ (3,180ℓ)
STC 9	□2,500mm× H2,660mm	1.780m ³ (1,780ℓ)	2.180m ³ (2,180ℓ)	11.160m ³ (11,160ℓ)

*1 貯油量及び堆積物量の変更は可能です。
*2 STC5・7はSTC3の、STC14はSTC9の貯留槽をそれぞれ深くしたモデルです。

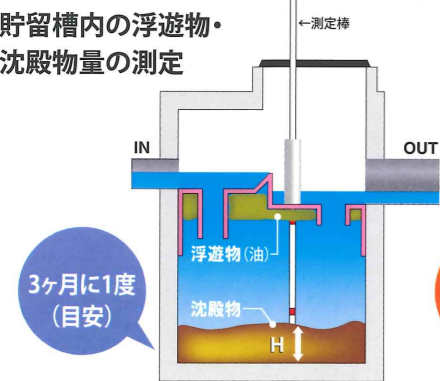
○型式別の対象地域の目安

型式	処理流量	対象地域 ^{*3}		
		一般地域 (6mm/h)	和歌山南部、高知 (9mm/h)	沖縄 (12mm/h)
STC 1	0.005m ³ /sec (5ℓ/sec)	3,300m ²	2,100m ²	1,600m ²
STC 2	0.008m ³ /sec (8ℓ/sec)	5,300m ²	3,500m ²	2,600m ²
STC 3	0.018m ³ /sec (18ℓ/sec)	12,000m ²	8,000m ²	6,000m ²
STC 9	0.030m ³ /sec (30ℓ/sec)	20,000m ²	13,000m ²	10,000m ²

*3 地域ごとの降雨特性に応じて設計降雨強度を推奨しています。
表の対象地域は、流出係数0.9で算出。(現場条件変更の場合は別途算出)

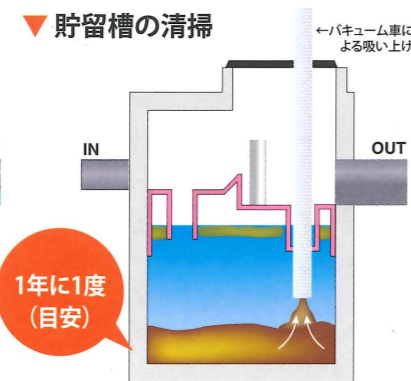
ヒュームセプターは定期的なメンテナンスが必要です。

▼貯留槽内の浮遊物・沈殿物量の測定



測定棒を用い、貯留槽内に溜まった浮遊物・沈殿物の量を測定します。

▼貯留槽の清掃



浮遊物・沈殿物の量が規定量に達したら、貯留層内のすべての水を吸い上げます。



※浮遊物・沈殿物の量が規定量を超えた場合、機能低下の恐れがあります。
※ヒュームセプターには、専用の測定棒があります。



http://www.itoyogyo.co.jp http://store.itoyogyo.co.jp

開発営業部 〒531-0071 大阪市北区中津6丁目3-14 TEL.06-4799-8853 FAX.06-4799-8864
営業企画室 〒531-0071 大阪市北区中津6丁目3-14 TEL.06-6455-2503 FAX.06-6455-2539
大阪営業所 〒531-0071 大阪市北区中津6丁目3-14 TEL.06-6451-8711 FAX.06-6451-8716
神戸営業所 〒657-0835 神戸市灘区灘北通10丁目1-14 TEL.078-882-7171 FAX.078-882-7175
岡山営業所 〒701-4271 岡山県瀬戸内市長船町長船1245-1 TEL.0869-26-3530 FAX.0869-26-2303
東京支店 〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目8-7 TEL.03-3241-0033 FAX.03-3241-0034

※商品の色が印刷のため多少異なる場合があります。尚、商品の仕様を予告なしに変更することがあります。

1305BX・GR



NETIS登録番号:KK-080015-A

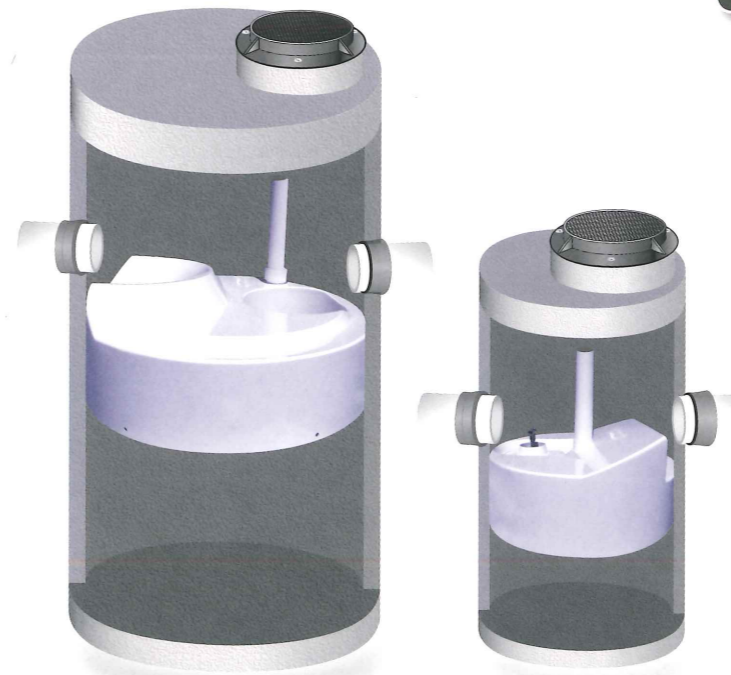
世界での実績
3万基

路面排水対策製品 ヒュームセプター

ヒュームセプターは、路面排水(雨水)に含まれるSS、油を分離する製品です。
湖沼、河川、海、農地などの水環境を保全します。

道路などに堆積した環境に有害な物質

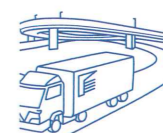
SS (重金属・窒素・リン) **油** **STOP!**



駐車場での雨水排水対策に...



道路等での雨水排水対策に...



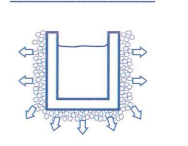
事業所敷地内の油流出対策に...



湖沼・河川の水質保全に...



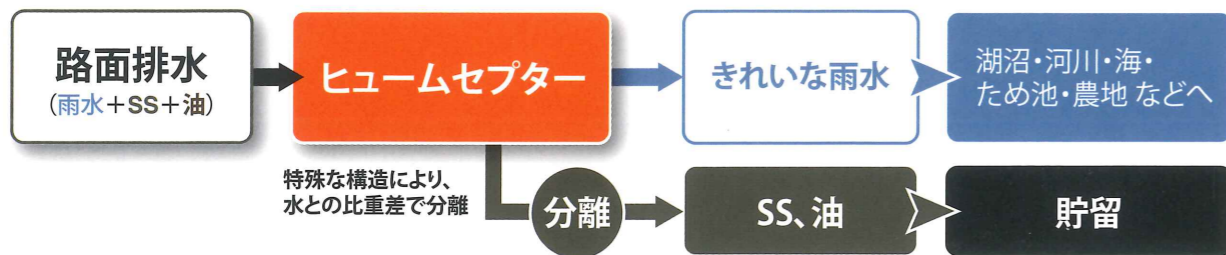
貯留浸透施設の前処理として...



ヒュームセプターは、 路面排水（雨水）に含まれる“SS・油”を分離する製品です。

組立マンホール構造の
路面排水対策製品

ヒュームセプターは、湖沼・河川・海・農地などの水環境を保全します！



特長 1

タテ型+コンパクトながらも、高い分離能力！

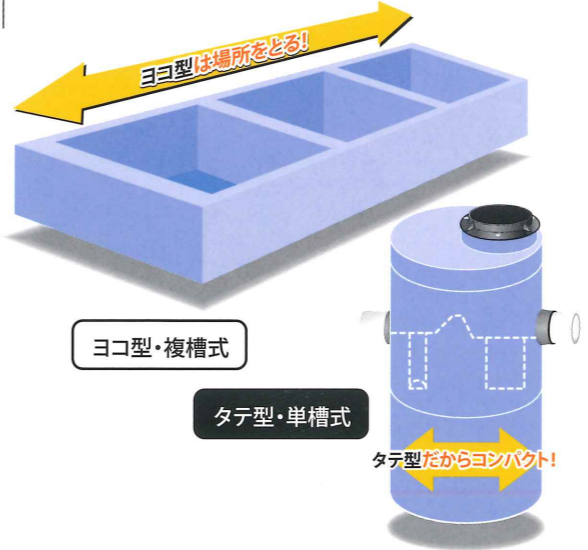
貯留槽流入部の形状が技術的なポイントで、小さな容量でも緩やかな流れに制御します。これにより、タテ型・単槽構造を実現しており、コンパクトで高い分離能力を発揮できます。



特長 3

コンパクトで場所をとらない。

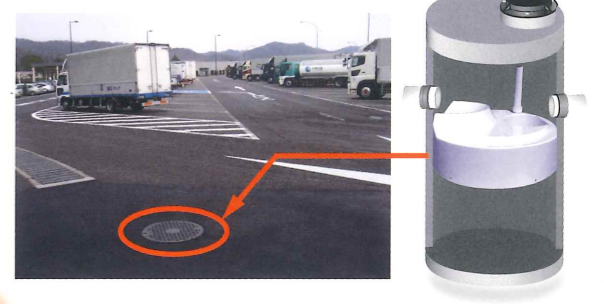
ヨコ型・複槽式と比べて、設置面積が小さくなります。組立マンホールによる「タテ型構造」で、用地の制約がある場合でも使用可能です。(高架下、のり面など)



特長 2

T-25対応。

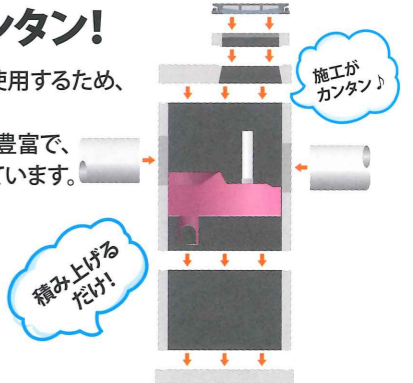
組立マンホールを使用するため、「T-25」にも対応し、大型車通行下でも使用可能です。



特長 4

施工がカンタン！

組立マンホールを使用するため、施工が簡単です。部材ラインナップも豊富で、高い汎用性を持っています。



特長 5

メンテナンスが容易で安価。

ヨコ型・複槽式と比べて、貯留槽が単槽であり、メンテナンスが容易です。また、動力やろ過材等を使用しないため、ランニングコストが安価です。

